

## 日中活動支援型共同生活援助事業の実施状況について

項目	【事業所記入欄】		
1.施設概要	法人名	社会福祉法人聖ヨハネ会	
	事業所名	緑町聖ヨハネケアビレッジ	
	事業所所在地	東京都小金井市緑町4-5-10	
	定員（共同生活援助）	男性9+女性9 18人	
	定員（短期入所）	男性1+女性1 2人	
	共同生活住居数	1戸	
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】
		(住居名を記載)	人
		(住居名を記載)	人
		(住居名を記載)	人
2.人員配置	管理者	1人	
	サービス管理責任者	1人	
	【日中】		
	世話人	2~4人	
	生活支援員	2人	
	【夜間】		
	世話人	2人	
	生活支援員	人	
3.利用者の状況	支援区分	身体障害	区分6： 人、区分5： 人、区分4： 人、区分3： 人、 区分2： 人、区分1： 人、区分なし： 人 グループホーム内で日中を過ごす利用者： 人 グループホーム外で日中を過ごす利用者： 人
		*知的障害	区分6： 2人、区分5： 6人、区分4： 8人、区分3： 1人、 区分2： 1人、区分1： 人、区分なし： 人 グループホーム内で日中を過ごす利用者： 0人 グループホーム外で日中を過ごす利用者： 18人
		精神障害	区分6： 人、区分5： 人、区分4： 人、区分3： 人、 区分2： 人、区分1： 人、区分なし： 人 グループホーム内で日中を過ごす利用者： 人 グループホーム外で日中を過ごす利用者： 人
		難病等	区分6： 人、区分5： 人、区分4： 人、区分3： 人、 区分2： 人、区分1： 人、区分なし： 人 グループホーム内で日中を過ごす利用者： 人 グループホーム外で日中を過ごす利用者： 人
	年齢	60代以上： 6人、50代： 4人、40代： 4人、30代： 4人、 20代： 0人 10代： 0人	
	利用者の障害特性等	医療的ケアの必要な者： 0人	
		強度高度障害のある者： 2人	
		その他： 人	

<p>日中をGH内で過ごす利用者に対してどのような支援を行っているか。</p>	<p>現在、全員が日中活動先に通所している為、平日の日中にグループホームで過ごす利用者はいない。平日が休日となっている利用者が1名いるが、自分で行動できるので自由に外出して過ごしている。体調不良の場合は通院支援や見守りなどを行う。土日祝日は各自自由に過ごしのんびりと過ごす・家族や友人と外出・移動支援を使いヘルパーと外出などの他、近隣の散歩や買い物へは職員が付き添っている。</p>
<p>外出や余暇活動等は実施しているか。</p>	<p>休日、1人で外出できる利用者は近所のスーパーや図書館等へ自由に外出している。一人で外出できない利用者は職員が付き添い近隣への散歩や買い物、美容院等へ行っている。月に一度、ボランティアの方が来寮し介護予防体操やカラオケを行っており希望者は自由に参加している。移動支援を利用し本人の希望の外出を楽しんでいる方、外部のサークル活動などへ参加をしている利用者もいる。</p>
<p>家族や地域との交流の機会を設けているか</p>	<p>感染症が流行している時以外は、ご家族には自由に来寮していただいている。利用者のみなさん来客は好きなよう誰かのご家族が来寮すると玄関に集まって来て挨拶や会話を楽しんでいる。町内会などが無いようなので近所の方との交流はなかなか難しいが隣の保育園とはお散歩の時に挨拶を交わしたりしている。</p>
<p>日中をGH内で過ごす利用者が地域との関係が希薄にならないためにどのような取組をしているか。</p>	<p>基本、全員が日中活動先へ通所している為、毎日外部との関係を持つことが出来ている。休日には本人希望の活動ができるようサポート。図書館や、地域のお店などへの買い物など。また地域のボランティアサークルなどにも参加している利用者もいる。</p>
<p>医療機関とはどのような連携体制をとっているか。（医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等）</p>	<p>同法人の桜町病院との連携をとっている。その他元々のかかりつけ医や地域の病院で診てもらっており、定期的な通院で病院との関係を保っている。日々の健康については検温・血圧測定や体重測定等健康観察を行っている。小金井市の健康診断も活用している。医師・看護師の訪問は今の所なし。（他のケア・ベリッジでは訪問看護を利用している方がいるので今後必要に応じてサービスを利用してゆく）</p>
<p>4.運営状況 利用者の権利擁護の配慮のための取組を行っているか。</p>	<p>虐待防止委員会の設置。毎月、各事業所の委員が集まり虐待防止についての勉強や議論・検討を行う。また、身体拘束適正化委員会の開催も第三者委員の方にも参加いただき外部からの視点で忌憚ないご意見を出していただいている。虐待防止研修については各事業所職員全員参加。内部研修の他、外部の研修にも積極的に参加している。職員会議でも権利擁護と安全確保のバランスなどをテーマに議論を深めている。</p>
<p>相談支援事業所は別法人の事業所を利用することで公平さを確保できているか。 (同一法人の相談支援事業所を活用している場合はその理由は何か。)</p>	<p>相談支援事業は別法人の事業所利用の方もいるが、多くが同法人の相談支援事業所のふらっとヨハネを利用している。同法人でのメリットとしては、情報伝達が早く良い事もそうでない事でも意見が伝えやすく、また、提案などもしやすい環境であること。</p>
<p>他の外部サービスを利用できているか。また利用者の外部サービスに対するニーズを把握できているか。</p>	<p>移動支援事業所の利用。利用者のニーズを把握するためにご本人が意見を言いやすい、意見が通りやすい環境を作っている。</p>
<p>短期入所は緊急時利用に対応できているか。</p>	<p>短期入所は男性フロア1名・女性フロア1名のみなので緊急時に対応できるよう小金井短期入所と協力して受け入れができる体制を整えている。</p>

協議会からの要望、助言にはどのように対応しているか(対応する予定か。)	要望。助言には真摯に対応致します。
その他（事業所独自の取組等）	利用者の皆さんが安心して生活できるグループホームを目指している。強度高度障害のある利用者に対しても事故のないよう必要に応じて人員を厚くするなどの体勢を整え、落ち着いて過ごせるよう支援している。